

## 概要

- 中山間地域集落を維持するため、県・市町村・関係団体が一体となった**中山間地域課題解決検討チーム**を結成。
- 「農業上の利用が行われる区域」や「保全等を進める区域」等にゾーニングの上、高齢化による離農や担い手人口の減少等で生じる**遊休農地の発生防止**を図り、それでも生じた遊休農地の解消に繋げるため、**遊休農地の有効活用方策**を検討する。

## 目標

鶴岡市温海地域における以下の方策等の検討・提案を目指す。

### ①遊休農地の発生防止・解消方策

### ②労働力確保対策



蜜源作物栽培



鳥獣緩衝帯整備 など

## これまでの活動（～R5）

### -R4-

#### ○R4.10 チーム結成



- 随時 活動方針と進め方を協議（打合せ・会議）

### -R5-

- R5.6 活動方針より項目ごとにまとめた**ロードマップ**を作成
- R5.7 現地の農地確認とワークショップによる**ゾーニング図の作成**
- R5.9 「まるっと中間管理方式」や「特定地域づくり協同組合制度」等を学ぶ**セミナー**を開催  
・「まるっと中間管理方式」の提唱者である**可知氏**と、温海地域で同方式を活用することについて**分析・討論会**を実施



## 活動の成果・課題

### — 成果 —

#### 1 ゾーニング図の作成

- ・地域の農地状況を**3つの区域**に可視化
- ・市の担当者より各集落に説明し、**おおむね合意**を得られた

### — 課題 —

- 「あつみ農地センター（仮称）」設立における地域農業者からの賛同の獲得と資金の確保
- 「保全等を進める区域」における農地の有効活用方策を実践するモデル集落の決定
- 労働力確保対策の具体的な検討

### 2 温海地域に適した方策の構築

- ・可知氏の指導の下、温海地域に適した農地を一括管理する組織である「**あつみ農地センター（仮称）**」設立の方向性の構築
- ・「**保全等を進める区域**」における農地の有効活用方策を検討するワークショップを行い、**鳥獣緩衝帯の整備**や**粗放作物の作付**などの**具体的な方策**を検討する**第一歩**となった

## 6年度取組内容

※ 年度当初計画からの変更と今後の取り組み

— 遊休農地の発生防止対策 —		— 労働力確保対策 —
1 あつみ農地センター（仮称） （まるっと中間管理方式を活用）	2 遊休化が懸念される農地の有効活用方策検討	
エリアでの設立に変更（全域から）	モデル集落を選定し事業内容と協議会設立を準備中	見送り（エリアへの変更のため）

	R6.4～6	R6.7～9	R6.10～12	R7.1～3
1 あつみ農地センター（仮称）	5/10 チーム打合せ	8/20 打合せ	10/7 チーム検討会議	10月～1月 エリアでの話し合い（予定） 10月～12月 モデル集落への説明（予定）
2 遊休化が懸念される農地の有効活用方策検討				1～2月 チーム検討会議 2月 活動報告の取りまとめ